

コロナで一変！避難所生活

大きな地震が起きた時、地区の小中学校等にて開設される避難所。
新型コロナウイルスの影響によって、**避難所における生活が変わります。**
主な変更点をチェックしましょう！



① 検温・体調の聞き取りを行います

避難所の入口では、避難者に対して非接触型体温計で検温します。
体調の聞き取りも行いますので、体調の悪い方は申し出てください。



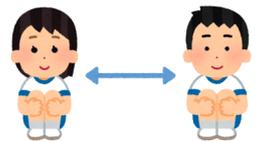
② 体調の悪い方は別のスペースで生活します

咳・発熱等の症状がある方や、濃厚接触者（健康観察期間中の方）は、
一般の方とは別の居住スペースで生活します。自宅療養者（コロナ陽性
と診断された方）は、保健所がホテル等への入所を調整します。



③ 一定の距離を保って生活します

感染症対策の為、避難所の居住スペース（体育館等）で生活する際には、
家族ごとに一定の距離を保って生活をします。



④ 感染症予防対策を行います

マスク着用、手洗いうがいをお願いします。また、水道・トイレ等の
定期的な消毒を行いますので、避難された方全員の協力が必要です。



避難所は、感染症予防対策徹底のため、スペース確保の必要性から、受け入れることのできる人数も少なくなっています。

自宅が安全な時は、在宅避難をお願いします！

在宅避難のために必要なことは？裏面へ→

在宅避難のために



① 備蓄を「1週間分」用意する

飲料水・食糧

1人1日3ℓの飲料水、家族の人数に合わせた非常用食糧

※ローリング・ストック方式・・・米、水、レトルト食品、缶詰を多めに購入し、使ったらその分を買い足すことで、いつも新鮮な食品を無理なく備蓄できます。

食事用品

はし・スプーン・紙皿・食品包装用ラップ・缶切り・カセットコンロ一式 等

その他

貴重品(現金・通帳・キャッシュカード・印鑑・保険証・免許証 等)

医薬品(常備薬・服用中の薬・生理用品 等)

生活用品(懐中電灯・ナイフ・ヘルメット・マスク・作業用手袋・ウェットティッシュ・ラジオ・携帯電話・充電器・予備電池・ひも・新聞紙・ビニールシート・公衆電話用10円硬貨・毛布・洗面道具・タオル・非常用トイレ・トイレトイレットペーパー・ゴミ袋 等)

衣類・くつ(頑丈で熱に強いもの)・眼鏡 等

※その他、アレルギー対策など、ご家族の状況に合わせて必要なもの

◆赤ちゃん(ミルク・哺乳瓶・おむつ等) ◆お年寄りや障害のある方(常備薬・お薬手帳等)

◆ペット(ケージ・ペットフード等)



② 自宅の安全対策を行う

耐震化や不燃化、家具類の転倒・落下・移動防止対策を行きましょう。

自宅を安全な場所にするのが、何よりの災害対策です。区の支援制度を活用して、建物の耐震化・不燃化、また日頃の事故防止にもつながる家具等の転倒・移動防止の対策を行きましょう。

★お問合せ⇒防災街づくり課耐震促進担当(☎5432-2468)



在宅避難でも、避難所を有効に活用してください

在宅避難であっても、避難所となる小中学校等に、足を運ぶようにしましょう。

- ①避難所で避難者カードに記入することで、支援物資を受け取ることができます。
- ②避難所の情報コーナーにて、役立つ情報を得ることができます。
- ③自宅の片づけなど、必要なボランティアを依頼することができます。



令和3年度の予定

八幡山小学校避難所運営訓練	令和3年 6月19日(土)
上北沢小学校避難所運営訓練	令和3年 9月25日(土)
上北沢地区防災訓練(八幡山小)	令和3年 11月28日(日)

